

おさかな瓦版 No.68 底びき網漁業

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 水産総合研究センター メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001313

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.





おさかな瓦版

No. 68
2015. 11

シリーズ：いろいろな漁業 第7回

底びき網漁業



ふーちゃんのトピックス

とうきょうわん だい かんしゃさい しゅってん
「東京湾大感謝祭 2015」に出展しました



ふっくんのなんでもコーナー

は さかな
葉っぱのような魚がいるよ ～リーフフィッシュ～

底びき網漁業

～海底や船の大きさに合わせて網を工夫しています～

底びき網漁業は、袋のような形の網を海底に沈めて船からひき網でひっぱり、海の底にいる魚やエビ、カニ、貝など（📷 1）を獲ります。



📷 1. 底びき網での漁獲物

世界中の沿岸から遠洋まで、さまざまなところで行われています。日本の全漁獲量の約20パーセントは底びき網漁業によるものです。船の大きさや海底の状態、獲る魚の種類によって、適したやり方が工夫されています。

たとえば、2～5人乗りの小型船の場合、開口板（オッターボード）を取り付けたり（📷 2）、網に竹ざお（ビーム）や箱形の枠（けた）を取り付けたりして、魚が網に入りやすくしています。

底びき網漁業は海の底に沈めた網をひくため、獲りたい魚のほかに、いろいろなものが



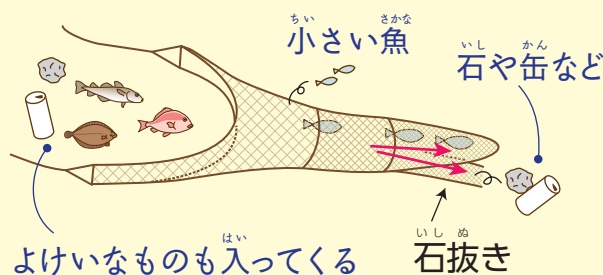
あんじいの
ワンポイント
アドバイス

網の改良

せまい船の上で漁獲物とゴミを分けるのは大変な作業じゃ。だから、よけいなものが網に入っても、出ていくような網を開発中じゃ。網目を大きくしたり、「石抜き」という穴を設けたりして、石やゴミ、小さな魚などが出ていくようにしておるぞ。

また、網目を大きくすれば網に使う糸の量が減り、網が軽くなるのじゃ。船に積む網が軽くなれば、燃料を節約することもできるのじゃ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



そこ あみ ぎょぎょう 底びき網漁業いろいろ ～こがた せん ば あい 小型船の場合～

あみ はい
網に入ってきます。

た 食べるのに適さない生き物や、陸から流れ
てきた木材、人が海に捨てたペットボトル、
ビン、缶、網の破片、時にはドラム缶まで
はい 入っていることがあります。これらはあみ なか
の魚を傷付けてしまううえ、ぎょかくぶつ とわ
け作業がとても面倒です。網の中の半分はいら
ないものということもあるのです。

すいさん そうごう けんきゅう 中心
水産総合研究センターは、あみ こうぞう くふう
して、いらないものが網に残らないようにし
たり、あみ かる 網を軽くしたりすることで、りょう し
の手間と経費を減らす研究
をしています(🐼 ワンポ
イント)。

お がわ みち お
(小河 道生)



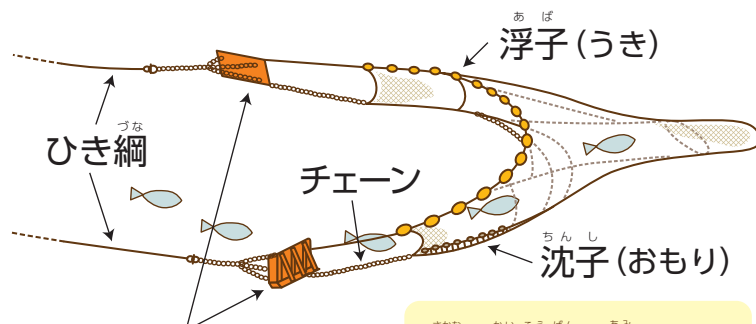
これが かいこうばん
(オッターボード)
なんだね!



📷 2. こがたそこ あみぎょせん
小型底びき網漁船(下)
と開口板(右上)

● かいこうばん (オッターボード) 付きの網

おもにマダイ、ヒラメ、カレイ、エビ、貝などを獲る

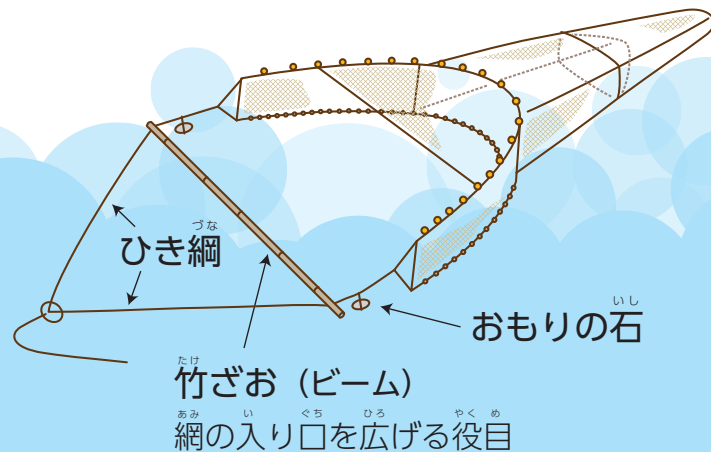


かいこうばん
開口板(オッターボード)
あみ い ぐち ひろ やくめ
網の入り口を広げる役目

さかな かい こう ばん あみ
魚は開口板と網をつな
いだチェーンに沿って
あみ おく はい
網の奥へ入っていく

● たけ づお (ビーム) 付きの網

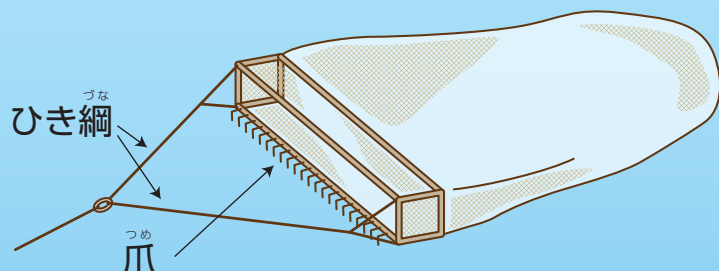
おもにヒラメ、カレイ、エビ、カニなどを獲る



たけ
竹ざお (ビーム)
あみ い ぐち ひろ やくめ
網の入り口を広げる役目

● はこがた わく つ あみ あみ 箱形の枠付きの網 (けた網)

おもにカレイ、エビ、貝などを獲る



かい てい ひそ かい と やく だ
海底に潜む貝などを獲るのに役立つ



「東京湾大感謝祭 2015」に出展しました

神奈川県横浜市の横浜赤レンガ倉庫で10月23日～25日、「東京湾大感謝祭 2015」が行われました。たくさんの展示やステージで東京湾のことを学べる、楽しいイベントでした。

水産総合研究センターは、「おいしい魚を食べ続けるために…魚と海を守り育てる」をテーマに展示しました。ウナギやクロマグロ、アサリの研究をパネル展示したほか、昔より魚が減ってしまった東京湾を復活させるために、千葉県、東京都、神奈川県と取り組んだ研究を紹介しました。

水産総合研究センターで卵から育てたウナギの赤ちゃんの水そうの前では、大勢の人が透明な赤ちゃんを見ていました。また、砂利の中からアサリを探し出すコーナーでは、大人も子どもも夢中になっていました。



会場のようす



アサリやちっちゃいカニ発見



ウナギの赤ちゃん、見えるかな

葉っぱのような魚がいるよ ～リーフフィッシュ～

紅葉がきれいな季節になりました。でも、これは水中の写真。真ん中の葉っぱは、実はリーフフィッシュ（コノハウオともいいます）という魚なんだ。

葉っぱのように薄い体で、周りの色に合わせて自分の体の色を変える性質があるよ。じっとしていることが多いけど、水の中をただようように泳ぐと、まるで本当の葉っぱのよう。南米のブラジルなどを流れるアマゾン川にすんでいるんだ。

ふっくんの なんでもコーナー

どんどん質問してね。
ぼくが答えるよ!



リーフフィッシュ

(画像提供: 宮島水族館「みやじマリナ」)



ふーちゃん



ふっくん

せんじん しゅぎょう けんきゅういん
あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.68 (2015年11月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

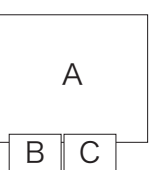
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

ひょうししゃしん 表紙写真



A: 底びき網漁船

B: 操業風景

C: 底びき網

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。